

News Letter

2019.01
Vol. 16

Contents

- 新年のご挨拶
- 医学部4年生
キャリア教育講義実施
- 大分都市医師会女性医師対談
- 女性医師等キャリア支援連絡協議会



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。
本年も、より一層のご支援を賜りますよう、センター一同心よりお願い申し上げます。



センター長 藤本 稔
副センター長 松浦恵子



レポート

医学部4年生

「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」の講義が開催されました

12月13日（木）挾間キャンパス臨床中講義室にて、医学部4年生対象に「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」と題したキャリア教育の講義が開催されました。

今年で3回目を迎えるこの講義ですが、”学生が卒業後、様々なライフイベントや岐路に立たされた時に、自らのキャリアの形成や、ライフとの兼ね合いをどのように選択していくのか”を学生自身考えてもらうことを目的としています。

最初に、産科婦人科の平川東望子先生と消化器内科の遠藤美月先生が、自らの歩んできたキャリアやその過程でのご苦労、また年々増えつつある女性医師に対しての医局のサポートや配慮などをお話いただき、学生は現役医師のリアルなお話に真剣に耳を傾けていました。

その後、学生はチュートリアル室に移動し12のグループに別れ、ワークライフバランス、緊急事態への対応、キャリア継続（転勤・留学）の3つのテーマから、グループ別に出された事例を基に討論を行いました。事例としては、「育休復帰後、夜間の呼び出しと子育てとの両立をしながら今後、どう働くべきか」「医師夫妻が夫が手術執刀の日で、妻が育休復帰の初日に子どもが熱を出したが、どうするか」「子育て中の女性医師が専門医取得の目前になって、夫が留学をして最先端の技術を学びたいと言い出したらどうするか」等がありました。グループ討論ではこうした問題に直面した場合に、仕事と育児の両立を目指す共働き夫婦としてどうするかを問題点、解決策、最善と考える選択と理由について話し合い、プロダクトを作成しました。

プロダクト作成後、再び講義室に戻り心臓血管外科の宮本先生のキャリア・アップとワークライフバランスについての講義を受講しました。宮本先生直筆のかわいいヤギのイラストや先生の座右の銘の紹介、留学の経験や医局内での女性医師の働き方と盛り沢山の内容をお話し下さり、学生たちも真剣に耳を傾けていました。宮本先生の講義の後は、グループ討論での過程と結論を、ロールプレイをしながらの発表です。

ロールプレイはグループ毎に大変工夫が凝らされており、それぞれ夫婦役の他に、子ども役や両親役であったり、理解の無い上司役、応援してくれる周りの同僚など多彩な配役で、笑いあり涙ありの楽しいドラマのようでした。進行係の学生の采配・時間配分も見事でした。

その後、男女共同参画推進室・室長であり、当センターの副センター長である松浦恵子先生による「ワークライフバランスミニ講義」がありました。

受講後の学生たちの感想は「先輩女性医師の話が聞けてよかった」「将来について考える良いきっかけになった」という声が多く寄せられました。



心臓血管外科 宮本伸二先生



産科婦人科 平川東望子先生



消化器内科 遠藤美月先生



グループ討論の様子



ロールプレイ(発表)の様子



大分郡市医師会主催

レポート

女性医師支援の対談が行われました

11月7日(木)女性医師の働き方や女性医師支援について、大分郡市医師会の久保先生、分藤先生、山内先生と医学部女子の代表として4年生の郷田さん、5年生の衛藤さん、女性医師の先輩として中川先生、松浦先生、立山先生、広瀬先生の対談が行われました。

始めに久保先生から、医師という仕事は男女関係なく過酷な仕事であるというお話があり、出席者のみなさんは大きく頷いておられました。女性医師が辛いなというところは、男性医師も辛いのを我慢して働いているので、働き方改革が求められている、現代において女性医師のサポートは将来的に男性医師のサポートにもなるとのことで、現状の女性医師支援をテーマに対談がスタートしました。

大学での女性医師の働く環境は平成の初めに比べると、格段に整ってきています。出産後の職場復帰は普通のことで、医局のサポートにより、手術や入院担当も可能です。また、院内にある保育所や病児保育は、働く女性医師にとって心強い味方になっています。そして、女性医師が働き続ける上で、欠かせないのが配偶者や家族の協力です。家事の分担はもちろんですが、パパの積極的な育児参加が増えてきています。例えば、お子さんの入学式に夫婦揃って参加や、子どもの受診時に病院への付き添いがパパ、といったことが挙げられます。

このお話を聞かれた山内先生は、「私たちの頃から見ると夢のような話ですね」とおっしゃられ、女子学生のお二人も「出産後、働き続けるのに心強いお話が聞けました」とのことでした。

このように女性医師が育児をしながら働く環境は整ってきていますが、子どもがいるので配慮されるのを当然と思うのではなく、自分ができる仕事を率先してする気持ちも持ってほしいとのことでした。そうすることで周囲の理解や協力が得られ、女性医師自身の働くモチベーションアップに繋がるそうです。

最後に、大きな学会では託児がついていることが多いのですが、地方で開催される学会では、まだまだ託児が付いていないことが多いので、「今後、託児付きの学会が増えるといいですね」と現在、子育て中の立山先生、広瀬先生ともおっしゃっていました。



(左上から)松浦先生・山内先生・中川先生・久保先生・分藤先生
郷田さん・立山先生・広瀬先生・衛藤さん



大分県女性医師等キャリア支援連絡協議会を開催しました

2018年11月29日(木) 大分県医師会館にて大分県女性医師等キャリア支援連絡協議会を開催しました。

厚生労働省平成30年度女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業、すなわち全国における女性医師支援等の取り組みの収集や効果的な取り組みの後押しを行う事業、に全国医学部長病院長会議が採択され、大分県では本学が幹事校に指名されました。

この連絡協議会は、その事業の一環として開催されました。

連絡協議会当日は、大分県医師会男女共同参画委員会・副委員長の松浦副センター長が議長となり、大分県的女性医師等キャリア支援の現状について、意見交換がされた後、効果的な支援策について協議が行われました。



お知らせ



マタニティ白衣・スクラブの貸出始めました

女性医療人キャリア支援センターでは、妊娠中の女性医師の方のためにマタニティ白衣、マタニティスクラブの貸出しを行っています。

詳細はセンターHP <http://www.med.oita-u.ac.jp/carsupport> をご覧ください。

利用希望・質問等は、carsupport@oita-u.ac.jp もしくは 097-586-5715 にお問い合わせいたします。